



精明地区



地産地消餅つき大会

精明地区は、国道 299 号バイパスを挟んで南と北に位置し、それぞれ異なった環境にあるのでその特色を活かしたまちづくりができる。

当該地区で新たな交通手段「おでかけむーま号」の運行が開始し、高齢者等の方々の買い物や通院などの移動手段が改善される。

また、土地区画整理事業による道路整備で拡張された歩道に、地域のボランティア団体による四季を通じた花の植栽が人々の目を楽しませている。

活動実績

精明地区まちづくり推進委員会は、平成 12 年 12 月に発足した。精明地区は農作地と市街地を抱える環境でまちづくりを進める中、共に暮らす地域の人々が本会の餅つき大会事業で多世代に渡り交流が出来た事、また自治会や学校、各種ボランティア団体とも連携を深められ、若者も高齢者も生き生きと暮らせるまちづくりの一助になった。

もちつき大会で使用する食材においては、地域産品の積極的な活用に努めている。具体的には主要食材であるもち米は、精明地区の農家が生産したものを直接購入し、その他の食材についても地元の商店から購入している。これにより、地域間の交流を増やすことができたとともに地産地消を実現することができている。

現状と課題

これまで幾つかの事業を企画してきたが、コロナ禍で全ての事業が中止となった後、「地産地消」と「地域交流」を目的とした餅つき大会が、事業の主軸となっている。餅つき大会の事業は地域の関心を高く集めることができ、参加者、協賛者数を毎年増加させることができている。

課題として、今後事業費が増加傾向になると、新たな事業が企画できないことが挙げられる。

将来像

住んでいる人も訪れる人も、
安心して心豊かに暮らせるまち

サブテーマ

○多世代に渡りいきいきと暮らせるまち

精明地区協働計画「アクションプラン」



将来像

サブテーマ

アクションプラン

住んでいる人も
訪れる人も、
安心して心豊か
に暮らせるまち

多世代に渡り
生き生きと
暮らせるまち

地産地消餅つき大会（わいわい祭り）



飯能おやじの会 豚汁大鍋

★アクションプラン①「地産地消餅つき大会（わいわい祭り）」

〔目的〕

日本古来より受け継がれて来た餅つきを介して、多世代の交流と当該地域生産者と消費者との交流

〔取り組み方〕

- ・ 飯能市立飯能第一中学校敷地内を会場借用し近隣住民の交通利便性に対応する。
- ・ 敷地内ではテントブースを幾つか設置し参画団体に対応する。
- ・ 学校敷地以外に体育館も借用しステージ上で飯能市内の演奏活動家のミニコンサート、一中吹奏楽部演奏、地域に根付く祭り囃子等のイベントも視野に入れる。
- ・ 近隣自治会のイベント協賛要望が有れば対応したい。



長福寺



宮沢湖・メツツア

アクションプラン①
地産地消餅つき大会



餅つき大会



精明地区アクションプランマップ

